

## 12 財 務

### 1 はじめに

本法人は、平成23年4月1日に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第四期目の決算を迎え財務諸表を作成しました。

公立大学法人の財務諸表は、企業会計原則を基本としながらも、主たる業務内容が教育・研究であり、利益の獲得を目的としないなどの特殊性を考慮した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成されるもので、本法人の財政状態や運営状況を示したものです。

### 2 貸借対照表

貸借対照表は、平成27年3月31日現在における、全ての財産（資産、負債・純資産）の状況を表示したものです。

#### （資産の部）

資産の総額は、80億9千7百万円です。

うち、土地・建物等の固定資産が66億3千4百万円で資産全体の81.9%を占めています。また、高知県から出資または継承により取得した財産は、60億8千8百万円で総資産の75.1%となっています。

#### （負債の部）

負債の総額は、17億7千3百万円です。

うち、固定負債が8億9千6百万円で、負債全体の50.5%を占めます。固定負債のうち99.8%は公立大学法人特有の会計処理による資産見返負債となっています。

資産見返負債は、特定の財源で償却資産を取得した場合に、減価償却処理による損益への影響を排除することを目的とし負債に計上するもので、支払義務のない会計上の負債です。

流動負債8億7千6百万円のうち、主なものは、未払金8億9百万円で、そのうち業務費等の未払額が3億6千9百万円となっています。

#### （純資産の部）

純資産の総額は、63億2千4百万円です。

うち、資本金（高知県からの出資金）が61億6千7百万円、資本剰余金が△4億3千3百万円、利益剰余金が5億9千万円となっています。

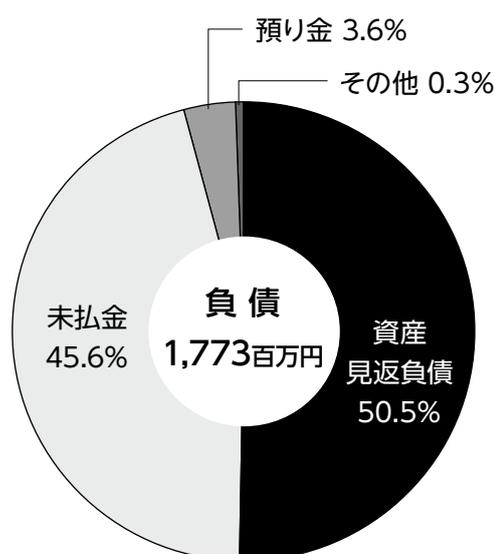
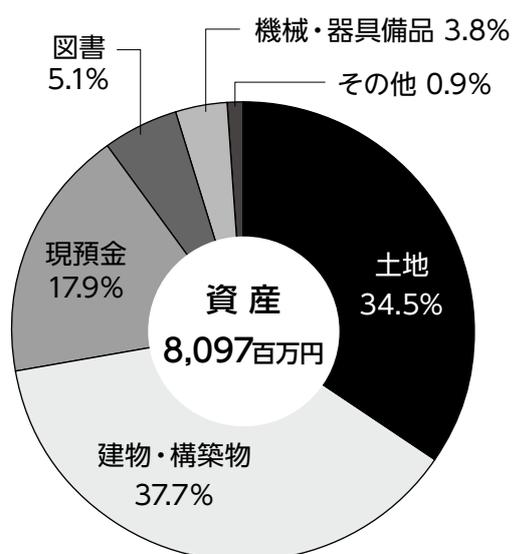
資本剰余金は、高知県から継承した未償却資産6百万円及び平成25年度購入した土地1億5百万円と出資された建物の損益外減価償却累計額5億3千9百万円及び損益外減損損失累計額5百万との差額となります。

## 貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産の部	固定資産	有形固定資産	土地	2,780	負債の部	固定資産	資産見返負債	895
			建物	2,983			長期リース債務	1
			構築物	49			小計	896
			機械装置	44		流動負債	未払金	809
			工具器具備品	264			前受金等	1
			図書	414			預り金	64
			車両運搬具	6			その他	1
			美術品・収蔵品	6			小計	876
			小計	6,549		合計③	1,773	
	無形固定資産	81	純資産の部	資本金	6,167			
	投資その他の資産	2		資本剰余金	△ 433			
	合計①	6,634		利益剰余金	590			
	現金及び預金	1,440		合計④	6,324			
	流動資産	その他の流動資産	22					
合計②		1,463						
資産合計①+②		8,097	負債純資産合計③+④			8,097		

※百万円未満切り捨て



### 3 損益計算書

損益計算書は、当期（平成26年4月1日から平成27年3月31日）に発生した法人のすべての費用とそれに対応する収益、並びに収益から費用を差引いた利益を表示し、法人の運営状況や収益構造を表示したものです。

#### （経常費用）

経常費用の総額は、28億4千8百万円です。

うち、業務費が25億8千万円、一般管理費が2億6千7百万円です。

業務費の内訳は、教育経費が5億8千3百万円、研究経費が2億5千1百万円、教育研究支援経費が8千5百万円、人件費が16億5千万円となっています。なお、人件費が経常費用に占める割合は、57.9%となっています。

#### （経常収益）

経常収益の総額は、30億8千7百万円です。

うち、高知県から交付を受けた運営費交付金の収益が19億円、授業料・入学料・検定料等の収益が8億2千7百万円、受託研究・事業等の外部資金による収益が1億4千1百万円、資産見返負債戻入が1億2百万円、施設使用料や科学研究費補助金の間接経費等の雑益が1億1千6百万円となっています。

資産見返負債戻入は、公立大学法人特有の会計処理によるもので、減価償却処理による費用発生の都度、資産見返負債を取崩して収益化する際に発生する会計上の収益です。

#### （経常利益）

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、2億3千8百万円です。

#### （当期総利益）

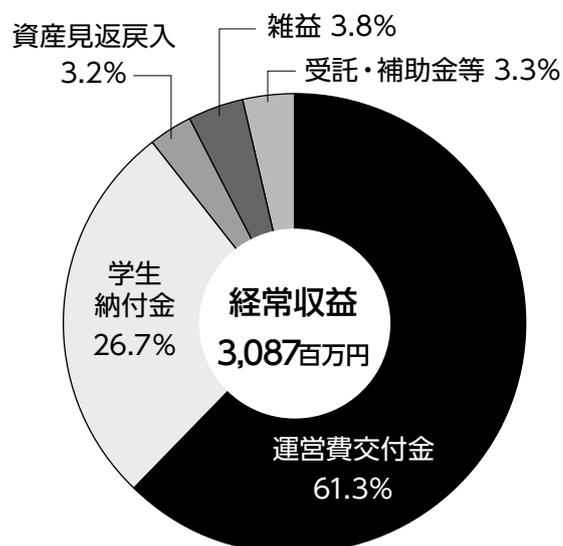
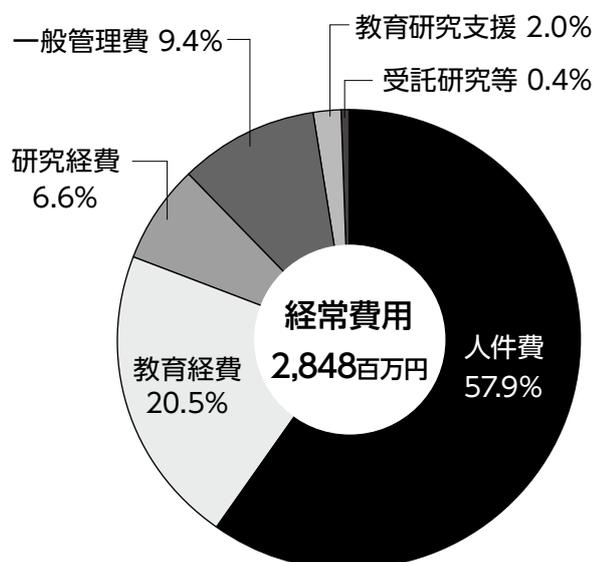
平成26年度の当期総利益は、2億3千8百万円となりました。これは貸借対照表の当期未処分利益と一致しています。

## 損益計算書の概要

(単位:百万円)

経 常 費 用	業 務 費	教員経費	583	経 常 収 益	運営費交付金収益	1,900
		研究経費	251		授業料収益	721
		教育研究支援経費	85		入学料収益	82
		受託研究費等	4		検定料収益	23
		受託事業費	6		受託研究等収益	4
		役員人件費	19		受託事業等収益	6
		教員人件費	1,225		寄附金収益	11
		職員人件費	405		補助金等収益	118
		合 計	2,580		資産見返負債戻入	102
	一般管理費	267	その他		116	
合 計	2,848	合 計	3,087			
当期総利益			238			

※百万円未満切り捨て



## 4 その他の主要諸表

### ① キャッシュ・フロー計算書

通常の事業活動により生じた資金の流れを示す業務活動によるキャッシュ・フローの収支差額 8億5千3百万円から、投資活動によるキャッシュ・フローで表示される設備投資等により生じた支出合計 1億2千4百万円を減算すると、当期の資金増加額は 7億2千8百万円となり、前期繰越額と併せた期末残高は 14億4千万円となります。

#### キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務活動によるキャッシュ・フロー	853
	原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 530
	人件費支出	△ 1,759
	その他支出	△ 98
	運営費交付金収入	2,182
	学生納付金収入	785
	受託・補助金・寄附金収入	162
	その他収入	112
II	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 124
III	財務活動によるキャッシュ・フロー	0
IV	資金増加額	728
V	資金期首残高	712
VI	資金期末残高	1,440

※百万円未満切り捨て

### ② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにしたものです。

#### 利益の処分に関する書類（案）の概要

(単位:百万円)

		26年度(A)
I	当期末処分利益	238
	当期総利益	238
II	利益処分数額	238
	積立金	0
	目的積立金	238

※百万円未満切り捨て

### ③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、公立大学法人の運営上のコストのうち、県（住民）が負担している全コストを明らかにしたものです。

#### 行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位:百万円)

I	業務費用	1,977
	(1) 損益計算書上の費用	2,848
	(2) 自己収入等	△ 870
II	損益外減価償却相当額	118
III	引当外賞与増加見積額	8
IV	引当外退職給付増加見積額	△ 96
V	機会費用	127
VI	行政サービス実施コスト	2,135

※百万円未満切り捨て

## 5 外部資金導入の状況

## (1) 科学研究費助成事業交付状況

## 【科学研究費助成事業交付実績】

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H25		H26		H27～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
基盤研究A	看護	研究代表者	教授	野嶋佑由美	災害時における家族レジリエンスを促す看護支援モデルの構築と活用	新規	H26～29	0	0	8,800	2,640	22,300	6,690	31,100	9,330
基盤研究A 小計								0	0	8,800	2,640	22,300	6,690	31,100	9,330
基盤研究B	看護	研究代表者	准教授	神原 咲子	平時の地域モニタリング機能を有する減災看護モデルの構築	新規	H26～29	0	0	2,200	660	5,800	1,740	8,000	2,400
		研究代表者	教授	内田 雅子	慢性看護実践における事例研究法の再構築	新規	H26～28	0	0	5,200	1,560	6,700	2,010	11,900	3,570
		研究代表者	教授	中野 綾美	子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドラインの開発	継続	H25～28	4,500	1,350	2,700	810	6,200	1,860	13,400	4,020
		研究代表者	准教授	佐東 美緒	NICUからの在宅移行を支えるシミュレーションを活用した教育プログラムの開発	継続	H25～28	2,200	660	2,000	600	3,800	1,140	8,000	2,400
		研究代表者	教授	藤田 佐和	研究一臨床連携システムによるがん患者の在宅移行エンパワーメント看護介入の評価研究	継続	H25～27	6,300	1,890	3,700	1,110	2,200	660	12,200	3,660
		研究代表者	教授	中山 洋子	精神障害者の Self-care Assessment Tool の臨床活用	継続	H25～27	2,600	780	1,900	570	1,700	510	6,200	1,860
研究代表者	教授	山田 覚	大規模自然災害に備えた地方大学による地域住民支援システムの構築	継続	H24～28	6,400	1,920	2,200	660	3,700	1,110	12,300	3,690		
基盤研究B 小計								22,000	6,600	19,900	5,970	30,100	9,030	72,000	21,600
基盤研究C	看護	研究代表者	助教	坂元 綾	在宅酸素治療を要するCOPD患者の社会参加を促進する看護支援プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,000	300	1,200	360	2,200	660
		研究代表者	講師	山中 福子	慢性腎臓病(CKD)患者の体験を中心とした看護連携の構築	新規	H26～28	0	0	900	270	1,700	510	2,600	780
		研究代表者	教授	松本 鈴子	出産に伴ったトラウマ体験をした助産のレジリエンス尺度の開発	新規	H26～28	0	0	1,100	330	2,600	780	3,700	1,110
		研究代表者	准教授	瓜生 浩子	家族ハーデネスの強化を志向した高次脳機能障害者の家族支援プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,300	390	2,100	630	3,400	1,020
		研究代表者	准教授	川上 理子	在宅看取りを目指した地域-病院協働型在宅移行支援プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,300	390	1,500	450	2,800	840
		研究代表者	助教	森下 幸子	医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,000	300	800	240	1,800	540
		研究代表者	教授	森下 安子	訪問介護ステーションにおける災害時初期対応ガイドラインと教育プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,600	480	2,000	600	3,600	1,080
		研究代表者	講師	石川 麻衣	行政保健師の地区マネジメントの解明及び地区マネジメント向上方法の開発	新規	H26～28	0	0	1,000	300	2,600	780	3,600	1,080
		研究代表者	教授	池添 志乃	医療を要する子どもと家族のマネジメント力を育む養護教諭のケアガイドラインの開発	新規	H26～28	0	0	2,100	630	1,700	510	3,800	1,140
		研究代表者	教授	長戸 和子	在宅療養者の家族の「家族マネジメント力」育成のための看護介入方法の開発と評価	継続	H25～27	900	270	1,200	360	1,300	390	3,400	1,020
		研究代表者	教授	宮武 陽子	慢性心不全患者のセルフモニタリング能力開発のための教育支援プログラムの開発	継続	H25～27	1,700	510	1,200	360	700	210	3,600	1,080
		研究代表者	准教授	大川 宣容	「手術を受けた肺がん患者の身体経験を手がかりとした看護介入モデル」の臨床活用	継続	H25～27	1,600	480	1,000	300	1,100	330	3,700	1,110
		研究代表者	准教授	田井 雅子	統合失調症をもつ人の症状マネジメント習得を支援するケアガイドラインの開発	継続	H25～27	1,200	360	1,100	330	1,600	480	3,900	1,170
	研究代表者	助教	小原 弘子	訪問看護師と介護職との協働を促進する訪問看護師への教育プログラムの開発	継続	H25～27	900	270	700	210	700	210	2,300	690	
	研究代表者	助教	下元 理恵	慢性心不全患者の身体感覚に着目した保健行動を導くガイドラインの開発	継続	H25～27	1,300	390	1,100	330	600	180	3,000	900	
	研究代表者	助教	岩崎 順子	Maternal Confidenceを育成する看護介入プログラムの開発	継続	H24～26	2,200	660	1,100	330	0	0	3,300	990	
	研究代表者	准教授	嶋岡 暢希	乳児期の子どもを育てる母親のMastery獲得のプロセスと介入方法の開発	継続	H24～26	2,900	870	1,200	360	0	0	4,100	1,230	
	社会福祉	研究代表者	講師	福岡 隆康	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究	新規	H26～28	0	0	500	150	1,100	330	1,600	480
		研究代表者	教授	杉原 俊二	4テーマ分析法を用いた児童虐待防止への支援-「虐待リスクを抱える保護者支援法」-	新規	H26～28	0	0	700	210	600	180	1,300	390
		研究代表者	准教授	西梅 幸治	ジェネラリスト・ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践方法とツール開発の研究	新規	H26～28	0	0	1,500	450	2,100	630	3,600	1,080
研究代表者		准教授	西内 章	ソーシャルワークにおけるICT活用モデルの構築	新規	H26～28	0	0	500	150	700	210	1,200	360	
研究代表者		教授	宮上多加子	人をケアする准専門職の経験による学びと「仕事の信念」に関する研究	新規	H26～28	0	0	700	210	1,500	450	2,200	660	
研究代表者		教授	長澤紀美子	「ケイバビリティ」概念に基づく認知症高齢者ケアのアウトカム評価尺度の開発	新規	H26～28	0	0	700	210	1,300	390	2,000	600	
研究代表者		准教授	鈴木 孝典	精神障害者グループホーム選択指標の開発的研究	継続	H25～27	800	240	500	150	800	240	2,100	630	
研究代表者		講師	嶋岡亜紀子	在宅における高齢者の移送をめぐる事故の実態	継続	H25～27	600	180	1,200	360	500	150	2,300	690	
研究代表者		教授	田中きよむ	限界集落の地域的孤立化を基盤とする要援護者の孤立化問題と生活支援	継続	H24～26	3,000	900	900	270	0	0	3,900	1,170	
研究代表者		准教授	吉川 孝	生き方をめぐる現代倫理学の統合的研究	新規	H26～28	0	0	900	270	1,700	510	2,600	780	
文化	研究代表者	准教授	金澤 俊吾	英語における形容詞、名詞から構成される名詞句の修飾関係と、その意味拡張について	継続	H25～27	500	150	500	150	500	150	1,500	450	
	研究代表者	教授	三浦 要一	明治前期の徴発物件資料にみる民家の基礎的研究	継続	H24～26	1,400	420	700	210	0	0	2,100	630	
	研究代表者	教授	宇野 浩三	教師の住教育力解明とその向上・支援方策確立のための実践的研究	新規	H26～29	0	0	2,100	630	1,300	390	3,400	1,020	
地域教育研究センター	研究代表者	教授	萩沼 一男	染色体の形態や核型が大きく異なるハマボスのゲノム再編はどのようにして起きたのか	継続	H24～26	3,200	960	1,000	300	0	0	4,200	1,260	
	研究代表者	教授	清原 泰治	1950～1970年代の高知県における市町村民運動会の社会的機能に関する研究	継続	H24～26	1,200	360	600	180	0	0	1,800	540	
基盤研究C 小計								23,400	7,020	32,900	9,870	34,300	10,290	90,600	27,180

研究種目	学部	役割	職名	氏名	研究題目	新規・継続の別	研究期間	～H25		H26		H27～(予定)		総額(予定含む)	
								直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費	直接経費	間接経費
								文化	研究代表者	教授	李 春美	ウイダー再評価・センセーションノヴェルにおける先進的フェミニストの形成をたどる	新規	H26～26	0
挑戦的萌芽研究	看護	研究代表者	助教	井上 正隆	ケアデザイン力を拡大させるトリガー現象の誘発を目的とした教育プログラムの開発	新規	H26～28	0	0	1,100	330	1,600	480	2,700	810
		研究代表者	助教	大西ゆかり	リンパ腫瘍のリスクリダクションを推進するための「介護ケア指針」の開発	新規	H26～28	0	0	700	210	1,500	450	2,200	660
		研究代表者	教授	中山 洋子	東日本大震災による精神科医療の崩壊とシステムの再構築:「語り」による事例研究	新規	H26～27	0	0	1,300	390	1,200	360	2,500	750
	社会福祉	研究代表者	教授	丸山 裕子	ソーシャルワーカーの実践的コンピテンスの構成要素と形成過程に関する基礎的研究	継続	H24～26	0	0	796	150	0	0	796	150
	健康栄養	研究代表者	教授	渡邊 浩幸	高風味・高栄養価の野菜類を非常・災害食として利用するための野菜類の保存技術の確立	継続	H24～26	2,100	630	900	270	0	0	3,000	900
挑戦的萌芽研究 小計								2,100	630	5,146	1,395	4,300	1,290	11,546	3,315
研究活動スタート支援	看護	研究代表者	助教	庄司 麻美	治療期の進行肺がん患者の呼吸困難感をマネジメントする統合的看護介入モデルの開発	新規	H26～27	0	0	700	210	500	150	1,200	360
		研究代表者	講師	渡邊 美保	高齢者のリロケーションを支援する看護ケア	新規	H26～27	0	0	1,100	330	1,000	300	2,100	630
		研究代表者	助教	有田 直子	小児がんの青年が親と医療者とともに行う意思決定への看護実践ガイドラインの開発	継続	H25～26	1,100	330	900	270	0	0	2,000	600
		研究代表者	助教	野島 真美	被災地で救援活動を行う医療者に対するストレス負荷訓練の開発	継続	H25～26	1,100	330	1,000	300	0	0	2,100	630
研究活動スタート支援 小計								2,200	660	3,700	1,110	1,500	450	7,400	2,220
若手研究B	社会福祉	研究代表者	助教	二本柳 覚	ソーシャルワーカー養成におけるケアマネジメント技術教育の確立に関する研究	新規	H26～28	0	0	500	150	1,100	330	1,600	480
		研究代表者	講師	遠山 真世	重度障害者の就労支援システムの再構築に向けた実証研究	新規	H26～28	0	0	400	120	1,100	330	1,500	450
		研究代表者	助教	鈴木 裕介	中山間地域で暮らす高齢者の医療に関連する医療ニーズの評価指標の開発	新規	H26～28	0	0	900	270	800	240	1,700	510
		研究代表者	助教	稲垣 佳代	精神保健福祉士がもつ就労イメージの変容プロセスと支援への影響に関する研究	新規	H26～28	0	0	500	150	700	210	1,200	360
	健康栄養	研究代表者	准教授	鈴木麻希子	加齢・生活習慣病のタンパク質アルギニンメチル化への影響とアルツハイマー病への役割	継続	H24～26	0	0	900	270	0	0	900	270
		研究代表者	助教	田中 守	牛乳由来ペプチドはアレルギー症状及び発症を抑制できるのか	新規	H25～26	1,600	480	1,500	450	0	0	3,100	930
	看護	研究代表者	助教	小澤 若菜	小規模事業場における健康づくり支援ガイドラインの開発	継続	H25～27	800	240	900	270	500	150	2,200	660
		研究代表者	助教	小松弓香理	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族のMastery獲得を支援する看護介入	継続	H25～27	1,100	330	800	240	700	210	2,600	780
		研究代表者	助教	高谷 恭子	腎移植を受けた思春期の子どもと親がともに生きる軌跡を説明できるモデルの構築	継続	H25～27	1,100	330	900	270	900	270	2,900	870
	文化	研究代表者	助教	横本 香	精神看護者の心理的距離に関する臨床判断・看護行動の類型化及び新人教育ガイドライン	継続	H24～26	2,000	600	700	210	0	0	2,700	810
		研究代表者	准教授	山口 善成	注釈の意義に関する理論的・実践的研究	継続	H24～27	1,300	390	900	270	600	180	2,800	840
若手研究B 小計								7,900	2,370	8,900	2,670	6,400	1,920	23,200	6,960
合 計								57,600	17,280	79,346	23,655	98,900	29,670	235,846	63,915

※ 平成26年度の実績報告があった研究について掲載し、職名は、実績報告の職名を記載

## 【平成26年度 科学研究費採択件数】

研究種目名		状況	文化学部	看護学部	社会福祉学部	健康栄養学部	総合情報センター	地域教育研究センター	計
新規件数	基盤研究（A）（一般）	応募数	0	1	0	0	0	0	1
		採択数	0	1	0	0	0	0	1
		採択率	-	100.0%	-	-	-	-	100.0%
	基盤研究（A）（海外）	応募数	1	0	0	0	0	0	1
		採択数	0	0	0	0	0	0	0
		採択率	0.0%	-	-	-	-	-	0.0%
	基盤研究（B）（一般）	応募数	0	3	0	1	0	0	4
		採択数	0	1	0	0	0	0	1
		採択率	-	33.3%	-	0.0%	-	-	25.0%
	基盤研究（C）（一般）	応募数	2	13	8	3	0	1	27
		採択数	1	9	6	0	0	1	17
		採択率	50.0%	69.2%	75.0%	0.0%	-	100.0%	63.0%
	挑戦的萌芽研究	応募数	0	4	1	3	0	1	9
		採択数	0	3	0	0	0	0	3
		採択率	-	75.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	33.3%
若手研究（B）	応募数	0	1	7	1	0	0	9	
	採択数	0	0	4	0	0	0	4	
	採択率	-	0.0%	57.1%	0.0%	-	-	44.4%	
研究活動スタート支援	応募数	0	9	0	0	0	0	9	
	採択数	0	2	0	0	0	0	2	
	採択率	-	22.2%	-	-	-	-	22.2%	
合計	応募数	3	31	16	8	0	2	60	
	採択数	1	16	10	0	0	1	28	
	採択率	33.3%	51.6%	62.5%	0.0%	-	50.0%	46.7%	
継続件数			3	25	3	2	0	2	35
合計件数			4	41	13	2	0	3	63

## (2) 【中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム】

### ●事業目的と平成26年度の活動

中国・四国がんプロ養成基盤プログラムは、中国・四国地方の全域にわたる大学院、がんセンター、がん診療連携拠点病院が参加する多職種の高齢がん専門医療人養成の教育プログラムである。高度な専門知識に加え、チーム医療・リサーチマインドを身につけた全人的高齢がん専門医療人が多数輩出されることにより、中国・四国地域におけるがん治療の均てん化、標準化が実現され、各大学、地域における臨床研究や橋渡し研究の活性化を目指している。

岡山大学は主幹校として事務局を置き、事業全体の推進及び統括を行う。各大学（10大学）は専門性を活かし、各種WGの幹事校として他大学と連携してカリキュラムを編成し、実施する。

高知県立大学大学院は、がん高度実践看護師WGの主幹校として事業に取り組んでおり、他の4大学院と連携してインテンシブコースⅡとして、がん患者の治療・療養・生活過程を支える高度な看護実践の展開をテーマとする講演会の開催などを行った。また、高知県立大学大学院では、平成24年度に38単位の高度実践看護師教育課程への移行を行い、カリキュラムを強化するとともに、平成25年度には38単位移行後の修了生を4名、平成26年度には2名輩出した。また、チーム医療における高度実践看護師の役割開発を目指してセミナーや学習会を実施し、さらにインテンシブコースⅠとして、平成24年度より在宅移行や在宅看取りに力を入れた教育コースを開講し、地域の看護職への教育活動を行った。各大学の名称と担当は次の通り。

- ・岡山大学(主幹校)・・・がん薬物療法、放射線治療、医学物理士
- ・愛媛大学・・・・・・・・・・がん薬物療法
- ・香川大学・・・・・・・・・・緩和療法
- ・川崎医科大学・・・・・・・・ファカルティ・ディベロプメント（FD）、がん治療生涯教育
- ・高知大学・・・・・・・・・・放射線治療、在宅がん医療
- ・高知県立大学・・・・・・・・がん高度実践看護師
- ・徳島大学・・・・・・・・・・がん専門薬剤師、がん専門栄養士
- ・徳島文理大学
- ・広島大学
- ・山口大学・・・・・・・・・・腫瘍外科、eラーニング

年度	担当教員			事業実施期間	事業内容	交付金額(千円)
	学部	職名	氏名			
H24	看護学部	教授	藤田 佐和	H24. 4.1 } H25.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護インテンシブコースⅠ(在宅がん看護)の実施(1月～3月の15日間、11名修了)</li> <li>・がん高度実践看護師WGインテンシブコースⅡ(講演会)の実施(2回)</li> <li>・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間)</li> <li>・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回)</li> <li>・チーム医療セミナーの実施(7回)</li> <li>・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(4回)</li> <li>・大学院の広報活動・カリキュラムの策定</li> </ul>	9,723
		教授	森下 利子			
		教授	池田 光徳			
H25	看護学部	教授	藤田 佐和	H25. 4.1 } H26.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護インテンシブコースⅠ(在宅がん看護)の実施(11月～2月の15日間、8名修了)</li> <li>・がん高度実践看護師WGインテンシブコースⅡ(講演会)の実施(2回)</li> <li>・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間)</li> <li>・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回)</li> <li>・チーム医療セミナーの実施(7回)</li> <li>・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(5回)</li> <li>・大学院の広報活動・カリキュラムの策定</li> </ul>	9,723
		教授	森下 利子			
		教授	池田 光徳			

年度	担当教員			事業実施 期間	事業内容	交付金額 (千円)
	学 部	職 名	氏 名			
H26	看護学部	教 授	藤田 佐和	H26. 4.1 ( H27.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護インテンシブコースI(在宅がん看護)の実施(10月~2月の15日間、8名修了)</li> <li>・がん高度実践看護師WGインテンシブコースII(講演会)の実施(2回)</li> <li>・5大学院がん看護学合同セミナーの実施(2日間)</li> <li>・がん高度実践看護師(APN)セミナーの実施(7回)</li> <li>・チーム医療合同演習の実施(1回)</li> <li>・がん診療連携拠点病院看護師を対象の学習会の実施(5回)</li> <li>・大学院の広報活動</li> </ul>	9,599
		教 授	森下 利子			
		教 授	池田 光徳			

### (3) 【博士課程教育リーディングプログラム：災害看護グローバルリーダー養成プログラム】

#### ●事業目的

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業であり、文部科学省が実施しています。本学を責任大学として国公立5大学が共同でプログラムに申請を行い、平成24年度に採択を受け、プログラム責任大学である高知県立大学にプログラム管理センターを置き、プログラムの管理運営をとりまとめている。

本プログラムの目的は、他の近接学問と相互に関連・連携しつつ、学術の理論および応用について産学官を視野に入れた研究を行い、特に災害看護学に関してその深奥を極め、人間の安全保障の進展に寄与することである。また、その目標は、日本ならびに世界で求められている災害看護に関する多くの課題に的確に対応し解決できる高度な実践能力かつ研究能力を兼ね備え、国際的・学際的指導力を発揮するグローバルリーダーを養成することである。

本プログラムの特徴は、5大学院の蓄積してきた資源を共有し、各大学院研究科に共同災害看護学専攻という共同教育課程を設置し、「災害看護グローバルリーダー（DNGL）養成プログラム」を策定し、共同責任体制で一貫した教育を行いつつ、各大学院はそれぞれの特色をさらに強化していくこと、および国内外とのインターンシップの実施やモデル事業提案を義務づけることである。

#### ●プログラム参画大学

- ・高知県立大学大学院（プログラム責任大学）
- ・兵庫県立大学大学院
- ・千葉大学大学院
- ・東京医科歯科大学大学院
- ・日本赤十字看護大学大学院

#### ●プログラム事業期間

平成24年度から平成30年度までの7年間

#### ●交付金額

平成26年度 116,994千円

年度	プログラム担当教員				事業内容	
	役職	所属	職名	氏名		
H26	プログラム責任 大学長	学長	学長	南 裕子	・「共同災害看護学専攻」を4月に開講し、DNGLプログラム管理運営会議、教育課程連絡協議会、DNGL管理センターが連携し、11人の学生を受け入れ教育課程を開始。 ・実験的教育・遠隔授業のためのLearning Management System及び周辺システムを活用した教育を開始。 ・各大学で学際の実験教育が実施できるよう準備し、災害看護シミュレーションラボセンターが中心となりシミュレーション教育全体の企画運営、教育環境、教育方法の開発を実施。 ・国内外からの複数のエキスパートを招集し、第三者評価委員会を開催し、評価を受けた。 ・各5大学院が各大学院の特徴を踏まえて、教育コンテンツの開発、学際的な教育研究の実施、産官学の連携及び東北地域をはじめとする被災地域との連携のなかで、教育研究を展開。 ・国際的なネットワーク/海外の連携校との連携化、及び災害看護に関する情報や本事業の活動報告を発信するための国際学術雑誌を発刊。 ・全体企画としての国際セミナーの実施 ・各大学企画・運営による公開講座及びセミナーの実施	
	プログラム責任者	副学長	副学長	野嶋佐由美		
	プログラム担当者	看護学 研究科	教授	教授		山田 覚
			教授	教授		中山 洋子
			教授	教授		中野 綾美
			教授	教授		藤田 佐和
			教授	教授		竹崎久美子
			教授	教授		池田 光徳
			准教授	准教授		神原 咲子
			教授	教授		大村 誠
教授	教授	教授	長澤紀美子	人間生活学 研究科		

プログラム公式 Web サイト <http://www.dngl.jp/>

## (4) 奨学寄附金受入状況 (※ 平成15年度から実施)

平成 15 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	-	学長	青山 英康	4,500,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	生活科学部	教授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
3	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	590,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合計		3件		5,590,000		

平成 16 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
1	-	学長	青山 英康	17,000	本人	高知女子大学における教育研究の奨励
2	-	学長	青山 英康	1,000,000	高知女子大学教職員組合	高知女子大学における教育研究の奨励
3	生活科学部	教授	渡邊 文雄	500,000	マイクロアルジェコーポレーション(株)	円石藻利用についての基礎研究
4	生活科学部	教授	佐藤 厚	300,000	有限会社 創友	ラットを用いた界面活性剤の皮膚炎症の実験
5	生活科学部	助手	川口 順子	300,000	財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	高齢者の快適で安全な生活支援のための色彩の役割について
6	社会福祉学部	助教授	住友 雄資	210,000	(財) 三菱財団	精神障害者の地域生活支援に関する実証的調査研究
合計		6件		2,327,000		

平成 17 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 18 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 19 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金額	寄附者	研究題目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 20 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	500,000	井上石灰工業(株)	トマトの含有する機能性 についての研究
合計		1件		500,000		

平成 21 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	生活科学部	教 授	佐藤 厚	240,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	高齢者の転倒防止に向 けた実態調査
2	生活科学部	教 授	川村 美笑 子	500,000	公益信託 高知新聞・高知放送 「生命(いのち)の基金」	「深層水由来新素材ミネ ラルを活用した高齢者向 け摂食・嚥下食の開発」 に関する研究
3	生活科学部	准教授	清水 扶美	250,000	日本農産 (株)	食育及びヨード卵の機能 性の検討
合計		1件		990,000		

平成 22 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 23 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	健康栄養 学 部	教 授	渡邊 浩幸	1,500,000	株式会社ファンケル	PSGなどの食品因子の 生物活性測定とその技 術移管
合計		1件		1,500,000		

平成 24 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
1	看護学部	教 授	藤田 佐和	300,000	公益財団法人 日中医学協会	医学奨学生の研究に関 する費用の一部補填
2	看護学部	准教授	神原 咲子	300,000	財団法人福田記念医 療技術振興財団	ITの有効活用とバリアに なるもの
合計		2件		600,000		

平成 25 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者			金 額	寄 附 者	研 究 題 目
実績なし						
合計		0件		0		

平成 26 年度

(単位:円)

	寄附を受けた者	金額	寄附者	研究題目
	実績なし			
	合計	0件	0	

## (5) 受託研究費受入状況

(単位:円)

H17	研究者		金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授 笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成17年4月28日～ 平成18年3月24日
2	生活科学部	教授 佐藤 厚	2,518,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	高知県地域研究開発促進拠点支 援事業 題目:高齢者転倒予防のための 機器開発及びその製品化	平成17年7月1日～ 平成18年2月28日
	合計	2件	4,818,000			

(単位:円)

H18	研究者		金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授 笠原 賀子	2,300,000	独立行政法人 国立健康・栄養研究所	食品摂取頻度・摂取量調査	平成18年5月23日～ 平成19年3月23日
2	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨 床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
3	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	5,367,850	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成18年11月7日～ 平成19年3月12日
4	生活科学部	教授 佐藤 厚	1,900,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	呼吸にシンクロした胸郭周径の リアルタイム測定機器の開発	平成18年10月13日～ 平成19年3月30日
	合計	4件	10,951,750			

(単位:円)

H19	研究者		金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	1,383,900	(株)ファンケル	「ケール由来植物性Ca飲料の臨 床的有効性」に関する研究	平成19年3月26日～ 平成19年11月30日
2	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	5,913,000 (うち間接 613,000円)	国立大学法人 東京海洋大学	安全性の高いエトキシキン代替 抗酸化剤の探索と開発	平成19年5月31日～ 平成20年3月10日
3	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	2,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「シーズ発掘試験」 題目:「非結球アブラナ科葉菜類(ブ チベール)の出荷規格外及び廃棄 部位の有効利用を目指した機能性 食品素材の開発」	平成19年7月13日～ 平成20年3月31日
4	生活科学部	教授 川村美笑子	1,000,000	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	平成19年度地域イノベーション創出 総合支援事業「研究成果実用化検 討(FS)」 題目:室戸海洋深層水由来新素材ミ ネラルの特性を活用した高齢者向け ソフト食の開発	平成19年12月10日～ 平成20年3月31日
	合計	4件	10,296,900			

(単位:円)

H20	研究者		金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授 渡邊 浩幸	3,450,000	(株)ファンケル	題目:発芽米由来ASGの糖・脂 質代謝異常及び老化に伴う代謝 障害の改善効果の検討	平成20年6月26日～ 平成21年7月31日
2	生活科学部	教授 川村美笑子	2,000,000 (うち間接 200,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	クライアントの病状ステージに応じた 新しい血糖コントロール食品の開発	平成20年8月12日～ 平成21年3月31日
	合計	2件	5,450,000			

(単位:円)

H21	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	生活科学部	教授	川村美笑子	2,000,000 (うち間接 330,000)	JST (独立行政法人 科学技術振興機構)	ストレスが惹起する疲労を予防 する食品の開発	平成21年7月27日～ 平成22年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	5,979,518	文部科学省高等教育局	看護系大学におけるモデル・コア・カ リキュラム導入に関する調査研究	平成21年8月10日～ 平成22年3月31日
合計		2件		7,979,518			

(単位:円)

H22	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊 浩幸	3,000,000	株式会社ファンケル	慢性炎症反応が行動に及ぼす影 響の解明と改善方向の検索に関 する研究	平成22年5月6日～ 平成23年3月31日
2	看護学部	教授	野嶋佐由美	7,993,400	文部科学省	看護系大学におけるモデル・コアカ リキュラム導入に関する調査研究	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
合計		2件		10,993,400			

(単位:円)

H23	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊 浩幸	5,500,000	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
合計		1件		5,500,000			

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊 浩幸	4,419,807	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
合計		1件		4,419,807			

(単位:円)

H25	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	健康栄養学 部	教授	渡邊 浩幸	4,042,500	高知県	県産未利用有用植物の活用に向 けた農商工医連携基盤の構築と 事業化モデル	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
2	社会福祉学 部	講師	福間 隆康	1,030,000	一般財団法人 全国勤労者福祉・ 共済振興協会	障がい者の雇用と企業の新しい 人的資源管理システム	平成25年12月1日～ 平成27年4月30日
合計		2件		5,072,500			

(単位:円)

H26	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	教授	神原 咲子	2,860,000	独立行政法人 科学技術振興機構	避難所情報システムの地域妥当 性のための共同研究	平成26年5月7日～ 平成27年4月30日
2	健康栄養学 部	教授	渡邊 浩幸	2,957,814	高知県産業振興 センター	飲酒による脳萎縮を軽減する健 脳飲料の研究開発	平成27年1月26日～ 平成27年3月31日
3	健康栄養学 部	助教	田中 守	1,010,800	高知県	新しいタイプの抗アレルギー食 品の開発を目指した素材探索の 研究	平成26年9月24日～ 平成27年3月31日
合計		3件		6,828,614			

## (6) 受託事業費受入状況

(単位:円)

H24	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,590,225	社団法人 吾川郡医師会	平成24年度退院移行支援 コンサルテーション業務	平成24年4月2日～ 平成25年3月31日
2	看護学部	教授	長戸 和子	697,000	高知県	看護教員継続研修委託業務	平成24年7月6日～ 平成25年1月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成24年度高知県介護職員 喀痰吸引等研修	平成24年8月8日～ 平成25年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成24年度地域医療(多職種連 携)フォーラム開催委託業務	平成24年7月31日～ 平成25年3月31日
合計			4件	7,352,225			

(単位:円)

H25	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	2,066,442	社団法人 吾川郡医師会	平成25年度退院移行支援 コンサルテーション業務	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,875,000	高知県	平成25年度高知県介護職員喀痰 吸引等研修	平成25年5月30日～ 平成26年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	1,190,000	高知県	平成25年度地域医療(在宅での 看取りと他職種連携)フォーラ ム開催委託業務	平成25年6月25日～ 平成26年3月31日
4	看護学部	教授	森下 安子	602,784	社団法人 吾川郡医師会	「中央西地域包括ケアシステム 構築事業」事業評価調査結果の 分析業務	平成25年10月11日～ 平成26年2月28日
合計			4件	7,734,226			

(単位:円)

H26	代表教員			金額	委託者	業務名	期間
1	看護学部	教授	森下 安子	1,965,000	高知県	平成26年度地域医療フォーラム 開催委託業務	平成26年7月7日～ 平成27年3月31日
2	看護学部	教授	森下 安子	3,425,000	高知県	平成26年度高知県介護職員喀痰 吸引等研修	平成26年5月16日～ 平成27年3月31日
3	看護学部	教授	森下 安子	982,800	高知県	地域医療連携体制強化業務	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
合計			3件	6,372,800			

## (7) その他受入状況

(単位:円)

H24	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	438,370	公益財団法人 交通エコロジー・ モビリティ財団	多文化共生社会の災害情報に対す るバリアフリーモデルの構築	平成24年7月10日～ 平成25年3月31日
合計			件	438,270			

(単位:円)

H25	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	看護学部	准教授	神原 咲子	216,570	公益財団法人 交通エコロジー・ モビリティ財団	多文化共生社会の災害情報に対す るバリアフリーモデルの構築	平成25年4月1日～ 平成26年2月28日
合計			件	216,570			

(単位:円)

H26	研究者			金額	委託者	研究題目	期間
1	実績なし						
合計			件				

## 6 学長特別粋助成事業の状況

## 【学長特別粋助成事業実績（平成26年度）】

(単位：千円)

	事業内容	助成費	備考
「科研費」獲得支援助成事業	平成26年度科研費に研究代表者として応募し不採択となった者を対象に研究費を助成（11名）	3,197	
災害対策プロジェクト	広島土砂災害支援学生ボランティア活動の支援（旅費）	162	
国際交流	文藻外語大学との国際交流にかかる追加費用（旅費）	168	
学生支援	全国公立大学学生大会参加（旅費）	85	
入試広報	オープンキャンパスの再開催費用	2,500	
立志社中 (学生プロジェクト)	活動助成金にかかる追加費用	580	
合 計		6,692	